

# 第64回 関東地区高等学校PTA連合会大会 栃木大会

平成30年7月7日

## 第2分科会 進路指導とPTA

『活力ある進学校～個性を伸ばし、  
世界に羽ばたく人材の育成～』を目指して  
—学校・PTA・同窓会の協力体制—

埼玉県立本庄高等学校PTA会長 小林 康由 氏

大正11年開校 創立97年。  
平成25年「本庄北高校」を統合。単位制。  
全日制 普通科各学年8クラス  
定時制 普通科各学年1クラス  
昨年度より同窓会による奨学金制度(給付金型)スタート

### 教育の特色

- ・特進クラスの設置
- ・単位制・少人数授業・隔週土曜授業・毎(月)(水)7時間授業
- ・平日夜の図書館開放
- ・柏樹祭(文化祭・体育祭)
- ・オーストラリア海外研修・地域との連携

### 部活動

- ・生物部
- ・女子硬式テニス部
- ・吹奏楽部
- ・写真部

### 進路先

- ・生徒の7割が4年制大学(うち20名が国公立大学)
- ・短期大学や専門学校

### PTA組織と活動概要

- ・役員 PTA会長(1)、後援会会長(1)、副会長(12)、支部長(12)  
●会計幹事(1)、●庶務幹事(12) ( )は人数、●は学校職員
- ・委員会 ①総務委員会 柏樹祭バザー(9月)、PTA新聞(7月・3月)  
②社会委員会 ソフトバレーボール大会(7月)、研修旅行(11月)  
③進路委員会 進路講演会(5月・12月)、大学見学会(10月)  
④生活委員会 登校指導(6月・11月)、柏樹祭巡回(9月)  
警察連絡会巡回(7月・3月)、文化のつどい(2月)  
⑤定時制委員会 定時制総会(6月)、給食試食会・授業見学(6月・12月)、予餞会(3月)

※各委員会には副会長が委員長として所属する。

### PTAの取り組み

- (1) 進路講演会 年に2回、進路状況の説明や外部講師による入試状況や保護者の心構え、大学入試資金について、学年別に講演がある。
- (2) 大学見学会 国公立大学と私立大学の見学。
- (3) 図書館ボランティア  
平成27年9月より平日の夜(17:00~20:00)は生徒の学習時間として活用される。PTAと同窓会と協力し、この学習時間にボランティアで図書館当番(見守り)を引き受け、生徒を見守っている。

本庄高校PTAでは、同窓会の協力のもと、学校(進路指導部や各学年次など)連携しながら保護者の進路意識が高まるよう努めている。進路行事の充実と保護者の積極的な参加により、親子でさらに「高い目標に向かってチャレンジ」する意識が向上し、PTA活動が進路実現に結びつくようサポートを継続していきたいと考えている。

## 『キャリア教育の支援』

群馬県立富岡高等学校PTA会長（旧富岡東高等学校PTA会長）三木 健児 氏

※今回は統合についての発表になります。

### 旧「富岡東高校」（女子校）

1909年（明治42年）開校。女子高としては県内3番目に歴史がある。  
急激な少子化に伴い、平成30年4月男子校「富岡高校」と統合。109年の歴史に区切りを付けた。

#### 部活動

- ・音楽部・ハンドボール部
- ・陸上競技部・新体操部

#### ボランティア活動

- ・お富ちゃんボランティア  
富岡製糸場にて、ゆるキャラ「お富ちゃん」と一緒におもてなし活動をする。
- ・糸とり工女実演ボランティア  
繭から生糸を引き出す実演をする。

#### 進路実績

- ・生徒の7割が4年制大学（うち14名が国公立大学）
- ・他は短期大学や専門学校

#### PTA活動

##### ①進路指導：キャリア講演会

生徒対象。

PTA役員が自分の職場やその実際の様子を紹介し、仕事への理解を深めてもらう。  
富岡市役所、保育園、百貨店、郵便局など。

##### ②記念講演会

生徒・PTA会員対象。

日本や世界を舞台に活躍する一流の講師を招き講演。



### 旧「富岡高校」（男子校）

1897年（明治30年）開校。  
上州前田家の七日市藩邸跡地内にあり、敷地内には御殿と呼ばれる藩邸の一部や、シンボル「黒門」と呼ばれる中門がある。

#### 進路指導

「黒門プロジェクト」

- ・サクセスシステム（学習支援策）
- ・ドリームプラン（進路意識高揚策）

社会において必要とされる能力を身につける人間力向上プログラムが根底にある。

#### 部活動

「部活動・学習の両方の面で頑張ることが富高生である」  
ハンドボール部。22年連続で群馬県総体優勝。

### 統合への準備

#### (1) 生徒の交流

両校行事への相互参加、文化祭への相互訪問、生徒会の合同会議も行う。1年生は行事、土曜課外授業や夏季課外授業を合同で行い、両校の先生に指導を受ける。2年生は教科書、授業進度、試験、学年行事も同じものにした。

#### (2) PTA統合の準備

2年前より合同の本部役員会を開催し、新たなPTA会則、新役員の体制など、新「富岡高校」PTA発足の準備をし、役員会以外でも様々な場面で交流を図り、それぞれの文化祭に相互協力した。

会則は昨年5月にそれぞれのPTA総会で原案の承認を受け、今年度、新「富岡高校」PTA総会にて承認・発行を受けた。両校の規約の良いところを取り入れ、予算の細かい仕組みなどは旧「富岡高校」の仕様に合わせ、PTA会費など両校折衷した。

役員は両校からの役員が残り、新たに新「富岡高校」の役員が加わることになり、会長以下の役員もそれまでの交流が積み重ねのいかいもあり、スムーズに原案作成が出来た。

## 新「富岡高校」

平成30年4月開校。  
女子高「富岡東高校」  
男子高「富岡高校」との一括統合により、  
2.3年生7クラス、1年生6クラス。  
旧富岡高校敷地・校舎を利用し、新たな  
特別教室も整備。

### 教育目標(育てたい生徒像)

1. 人品雅致→人柄に優れ、知徳体の調和のとれた、人間性が豊かな生徒
2. 質実剛健→高い志を持ち、未来を切り拓くために地道に努力する生徒
3. 自主自立→自ら学び、考え、自らを鍛え社会に貢献する生徒

### 黒門キャリアプラン

各自が進路目標を達成し、将来社会に貢献する人となることを目標としている。

- ・人間力向上プログラム 基本的な生活習慣の確立と授業や特別活動への真剣な取り組みを軸とした学校生活を通して、社会において必要とされる能力を身につける。
- ・学習支援策
- ・進路意識高揚策

## <助言者>

栃木県立栃木商業高等学校 校長 池田 和久 氏

両校とも、全日・定時制、文武両道で統合を経験しているという多くの共通点があり、新しい取り組みを展開しています。現在は地域の連帯感が希薄で地域教育の低下が叫ばれる中、PTAの役割はますます大きくなるでしょう。皆さんが労を惜しまず活動している様子が伺えます。

「本庄高校」進路委員会は保護者に早い段階から情報提供で、保護者の心構えのお手伝いをしています。図書ボランティアは同窓会との協力が特筆すべき点と言えます。これは教師への負担減になります。ボランティアが仕事帰りに疲れているにもかかわらず、生徒達の為に来てくれることで一生懸命がんばろうという気持ちを持てるようになるのも大切です。

「富岡高校」100年を越える伝統校統合の新生富岡高校。何度も話し合いをし、子供たちの不安を和らげる事例がわかりました。PTAのキャリア講演会、様々なジャンルの講演はPTA活動の中で教師以外の大人と接することも大切だと思います。現在、離職者が多いので、PTAで自らの社会人としての経験を伝えることは大事です。

## <感想>

本庄高校のPTAは同窓会の協力を得て、図書ボランティアを行っていることに感心しました。仕事帰りや夕方の忙しい時間に見守りをするには、なかなか出来ないことです。子供たちもそんな大人の後ろ姿を見て、何かを感じ取っていることでしょう。また、同窓会による給付型の奨学金制度があることも、卒業をしてからも本庄高校に対しての愛情があるからこそその制度だと思えます。

富岡高校は統合したばかりの高校ですが、スムーズにスタート出来たとのこと。それまで準備を積み重ねることは大変だったと思います。

どちらの学校も色々な方の協力があって、PTA活動は成り立っています。私も微力ではありますが、南稜高校PTAのお便りをさせていただきます。今回は参加させていただきありがとうございました。

関口 美恵